

Photo Scan System (PSS)

ご提案書

(PSS Ver3.4.0.X 版)

2023 年 9 月(改訂版)

株式会社システムズ・インテリジェンス・プロダクツ

1. システム概要
 2. 特長
 3. システム構成
 4. 写真ファイル化の作業フロー
 5. メニュー構成
 6. 画面構成
 7. システム仕様
 8. PSS で処理できる写真台紙仕様
- 別紙：写真台紙作成要項

1. システム概要

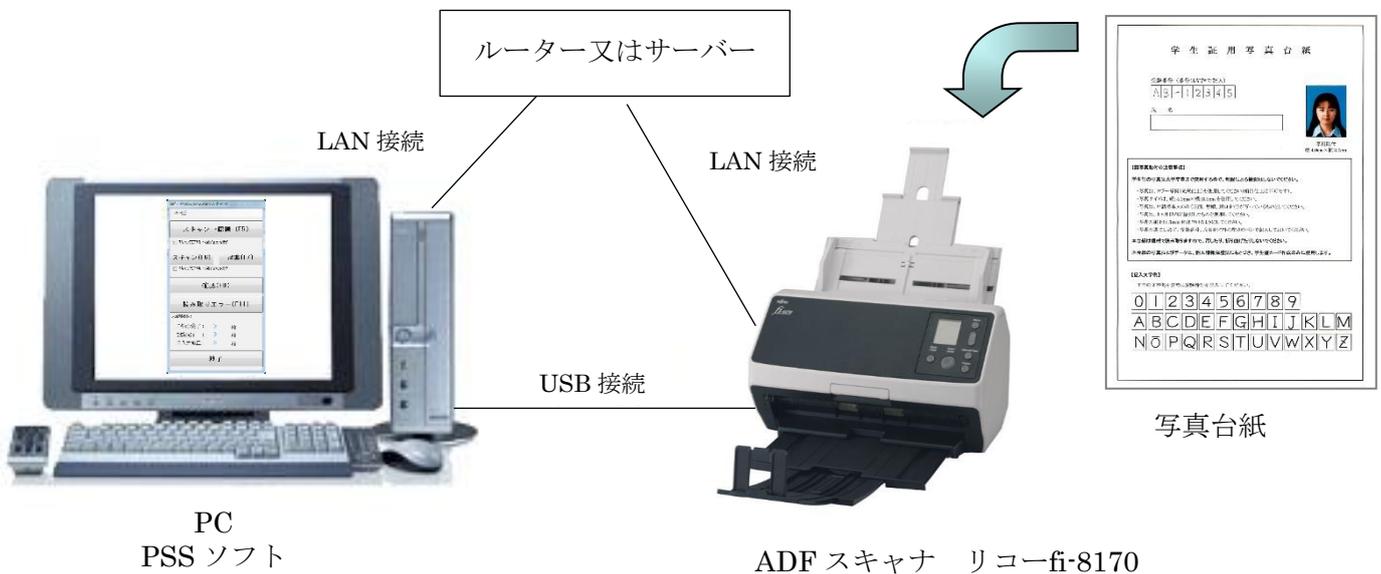
本システムは、写真台紙に記載された手書または活字の番号（学籍番号、社員番号等）を自動的に文字認識（OCR）し、貼付されている写真を取り込み、文字認識された番号をファイル名.jpgとして付与後、指定フォルダに保存する写真台紙取り込みシステムです。

2. 特長

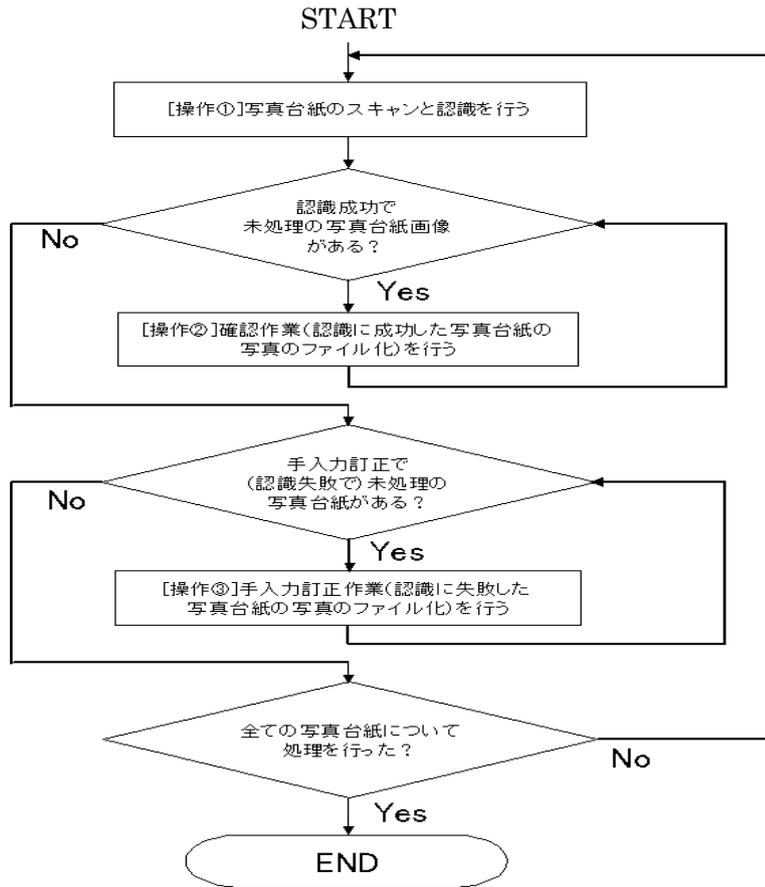
- (1) 各種写真台紙（学生証、社員証、保険証等）を連続カラーキャニングします。
 - ・指定範囲のみキャニングを行うため、高速スキャンが可能です。
 - ・他のスキャナから取り込んだ、写真台紙(jpg ファイル)のフォルダを全て連続カラーキャニングします。
- (2) 写真を指定枠で取り込み、切り出します。
- (3) 手書または活字の番号（学籍番号、社員番号等）を自動的に文字認識（OCR）します。また、正常に読み取れなかった文字はその場で上書修正ができます。
- (4) 写真の大きさ、傾き、明るさを取り込んだ画像を見ながら修正できます。
- (5) 写真台紙を複数作成し、登録したショートカットを選ぶだけで各種台紙に対応できます。（台紙作成、登録は別途ソフトが必要です。）
- (6) 文字認識された番号をファイル名として付与後、切り出した写真を指定フォルダに jpg 形式で保存します。
例：番号が「A 1 2 3 4 5」の場合ファイル名「A12345.jpg」となります。
* オプション機能追加で台紙全体のスキャン画像を保存することができます。
- (8) 写真台紙が 1 枚に集積した用紙を分割して OCR 処理を行う事が可能です。
 - ・ 2～5 分割まで可能、写真台紙の仕様、写真台紙分割機能を参照。
- (7) ファイル化した画像データは、弊社カード発行システムで、個人データと自動マッチングできます。

3. システム構成

スキャナの接続は、USB 又は LAN 接続になります。



4. 写真ファイル化の作業フロー



5. メニュー構成

このボタンでスキャン & OCR を実行します。

取り込んだ写真、OCR 文字の確認・修正等を行います。
* 「6. 画面構成」参照

def - PhotoScanSystemWithPrint

ファイル(E)

スキャン→認識 (F5)

スキャン完了時、枚数チェックを行う

スキャン(F6)
認識(F7)

スキャン完了時、枚数チェックを行う

確認(F9)

読み取りエラー(F11)

未処理枚数:

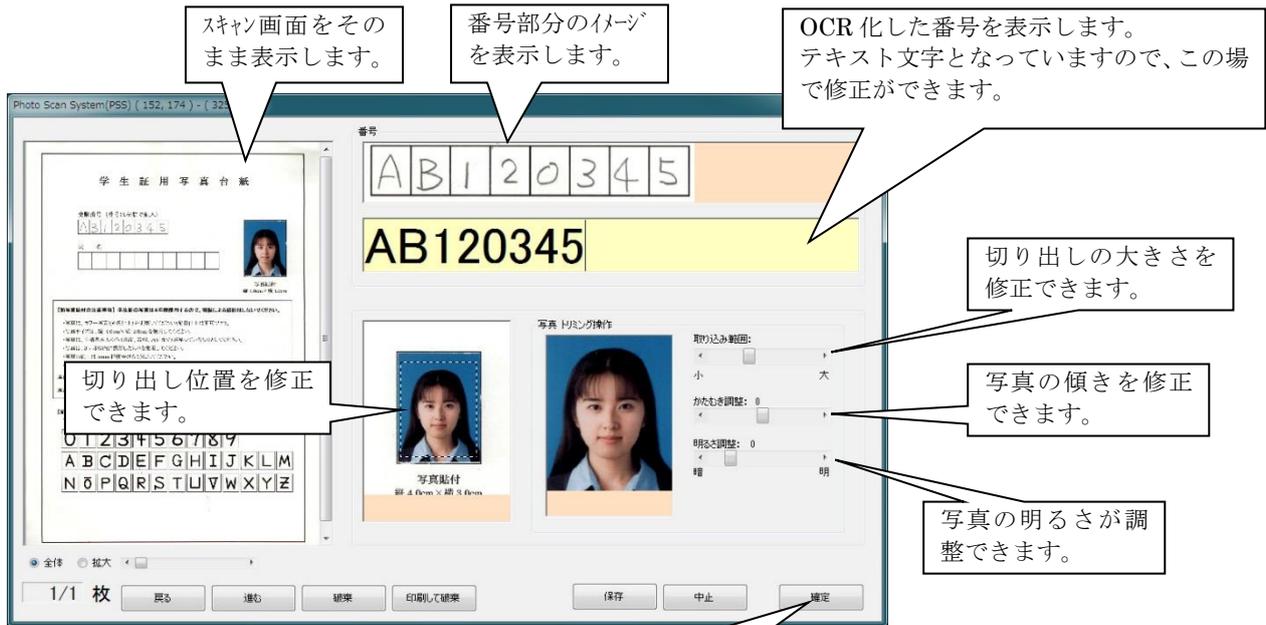
スキャン完了 : 0 枚

認識完了 : 0 枚

手入力修正 : 0 枚

終了

6. 画面構成 (標準)



7. システム仕様

・対応 OS :

Windows 10 Professional (64bit版)

Windows 11 Professional (64bit版)

・画面サイズ : 1280×768 以上

・推奨機種 : CPU : Intel CORE i3(同等品) 以上

メモリ : 8GB 以上

ストレージ : 500GB 以上 (SSD)

・スキャナ : リコー製 fi-8170(高速タイプ)又は fi-8150

・OCR : Panasonic 社製 (高速タイプ)

	fi-8170		fi-8150	
・処理能力* : カースキャン**	: 22 秒 / 20 枚	} 102 秒 / 20 枚 (5.1 秒 / 1 枚)	: 25 秒 / 20 枚	} 105 秒 / 20 枚 (5.25 秒 / 1 枚)
自動 OCR	: 20 秒 / 20 枚		: 20 秒 / 20 枚	
確認作業***	: 60 秒 / 20 枚		: 60 秒 / 20 枚	
(確認作業は写真補正無しで 3 秒 / 枚とした場合)				

* 台紙の読み込み A4 フルサイズ、PC の処理能力等により処理時間が変わります。

**測定 PC スペック Intel i5-10400 CPU @2.9GHz×2 RAM 160GB ストレージ SSD 1TB

***補正の内容 (位置、傾き、明るさ等) により処理時間が変わります。

8. PSS で処理できる写真台紙仕様

	手書き番号台紙	バーコード台紙
写真台紙の構成 写真台紙には、右記の項目を必ず設けてください。	①番号入力欄 ②写真貼付け欄	①バーコード ②写真貼付け欄 ③番号(確認用)
写真台紙用紙サイズ	A6(縦:148mm×横:105mm)以上 A4(縦:297mm×横:210mm) 以下としてください。 ※スキャン範囲はできるだけ狭くしてください。スキャン範囲が狭いほど、アプリケーション処理速度が速くなります。	
写真のサイズ	縦:30mm×横:24mm 以上縦:60mm×横:50mm 以下としてください。 ※写真は、縦:横の比率を 1.25:1 くらいとすると、画面で適切に表示できます。	
手書き番号	<ul style="list-style-type: none"> ・番号の桁数は、最小 1 桁から最大 12 桁の連続した英数字とハイフンです。 ・ファイル名に出力される文字は、半角英数字と半角ハイフンです。 ・番号入力欄は、1 文字ずつ枠で囲んでください。 	
バーコード	<ul style="list-style-type: none"> ・認識可能なバーコードは、NW7、Code39、Code128、JAN8、JAN13、ITF です。(ITF はベラアーバー(枠)ありに限り対応しています。) ・スタート/ストップキャラクタは、番号とはみなしません。(ファイル名に出力しません。) ・読取できる文字はチェックデジットを含め英数字とハイフンです。 * チェックデジットの有無、タイプは出荷時の設定となります。 * チェックデジットの計算自体は PSS では行いません。文字としての処理となります。 * 番号(確認用)は表示用画像として扱います。 従いまして番号とバーコードを照合する機能はありません。 * 台紙デザインによりバーコード外周に位置読取用枠が必要となる場合があります。 	

* 写真台紙は読み取り番号部分 (OCR する部分) が共通でも、台紙のデザインが異なる場合はフォーマットファイルの追加が必要となる場合があります。

* 写真台紙のフォーマットをお客様で追加作成する場合は別途ソフトが必要となります。

* 仕様および外観は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

以上

用紙厚についてのご参考

用紙の厚みは一般的に重さで表します。

用紙の業界では一連（平判 1000 枚）の重さをキログラム（kg）で表示し、これを連量（れんりょう）と呼びます。

（平判のサイズは四六判、菊判、A判、B判等の大きさがあります。）

また、これに対し 1 平方メートルあたりの紙の重さをグラム（g）で表示したものを坪量（つぼりょう）と呼びます。

紙の厚みは重さで表しますので同じサイズなら重いほうが厚い紙となります。

市販の一般的な紙厚の表示は連量または坪量で表示されています。

各サイズの参考換算表は以下の通りとなります。

連量(1000 枚)		坪量(1 枚)
四六判(788X1091) kg	菊判(636X939) kg	g/m ²
55.0	38.0	64.0
70.0	48.5	81.4
90.0	62.5	104.7
110.0	76.5	127.9

* 四六判 55～70kg が一般のコピー用紙となります。

* 同じ重さでも紙質によって厚さが異なります。

たとえば上質紙（一般的なコピー用紙）よりコート紙（表面加工された用紙）の方が一般的に同じ重さでも薄くなります。